

『リンドバーク 空飛ぶネズミの大冒険』

トーベン・クールマン／作 金原 瑞人／訳

ブロンズ新社 E7



港町で暮らす ネズミのリンドバーク。離ればなれになった 海の向こうの なかまに 会いに行くために 思いついたのは、なんと 空を飛んでいくこと。設計図を 書いて、部品を集め 組み立てて……。ようやく 完成した発明品で リンドバークは なかまのもとへ たどり着けるのでしょうか。



『くろねこのロク空をとぶ』

インガ・ムーア／作・絵

ながかわ ちひろ／訳 933



町ねこのロクは、やねのぼりの天才。ある日、山のふもとへ でかけたロクは、森の中で 山ねこのスコットと 出会いました。いっしょに冒険する中、ロクは 岩山で スコットに やねのぼりのすごさを みせようと考えます。

『江戸の空見師 嵐太郎』

佐和 みずえ／作 しまざき ジョゼ／絵 913



江戸に住む嵐太郎は、空見が得意な 少年です。空見とは、天気予報のこと。今では誰もが よく知る仕事ですが、江戸時代では そうではありませんでした。ある日、嵐太郎は 空見の腕を 見こまれ、一世一代の大仕事を 引き受けることになります。空気を読み取り、空を見あげる、天気への 挑戦の物語です。



『ちょうちょはやくこないかな』

甲斐 信枝／著 福音館書店 E6



ちいさな はなは ちょうちょが とんでくるのを たのしみに まっています。あ、きたきた！とおもったら よその はなに とんでいっちゃった。でも きれいに さいたから ちょうちょ、きっと きてくれるよね。



『ふしぎなふうせん』

中川 ひろたか／作 布川 愛子／絵



すずき出版 E7

のはらで おじいさんが ふうせんを ひろいました。ふーっと ふうらますと、ふうせんは うたを うたいただきます。『♪フワフワフワフワリン そらは どこまで そらなのか』すると おじいさんの からだは ふわりと ちゅうに ういて……。



『つばめのハティハティ』

箕輪 義隆／絵 寒竹 孝子／文 アリス館



488

つばめは 遠い南の国から 日本まで、海をわたって やってきます。ハティハティも そのうちの1羽。長い旅のあと ハティハティには いろんな物語が まっているのでしょうか。日本での つばめのくらしを、おはなしで 楽しく学べます。



やねより
たか〜く！

『こいのぼりくんのさんぽ』

すとう あさえ／ぶん たかお ゆうこ／え



ほるぷ出版 E7

こいのぼりくんが ねこちゃんを のせて おそらを さんぽ。ところが とちゅうで ぐらぐら、ゆらゆら おそらからおっこちて……。こいのぼりくんたちは いったい どうなって しまうのでしょうか。



『地球から宇宙をめざせ！』

アレクサンドラ・ミジェリンスカ、

ダニエル・ミジェリンスキ／文・絵 武井 摩利／訳

山崎 直子／日本語版監修 徳間書店 538

わたしたちの地球は、宇宙の中では 小さな点にすぎず、遠く空の上、宇宙には まだまだ たくさんの謎があります。探査機やロケットなど、さまざまな形で 人類が 挑戦し続けてきた 宇宙の世界に 飛び込んでみましょう。

